

明るい未来に向けて

中学校3年

同和問題

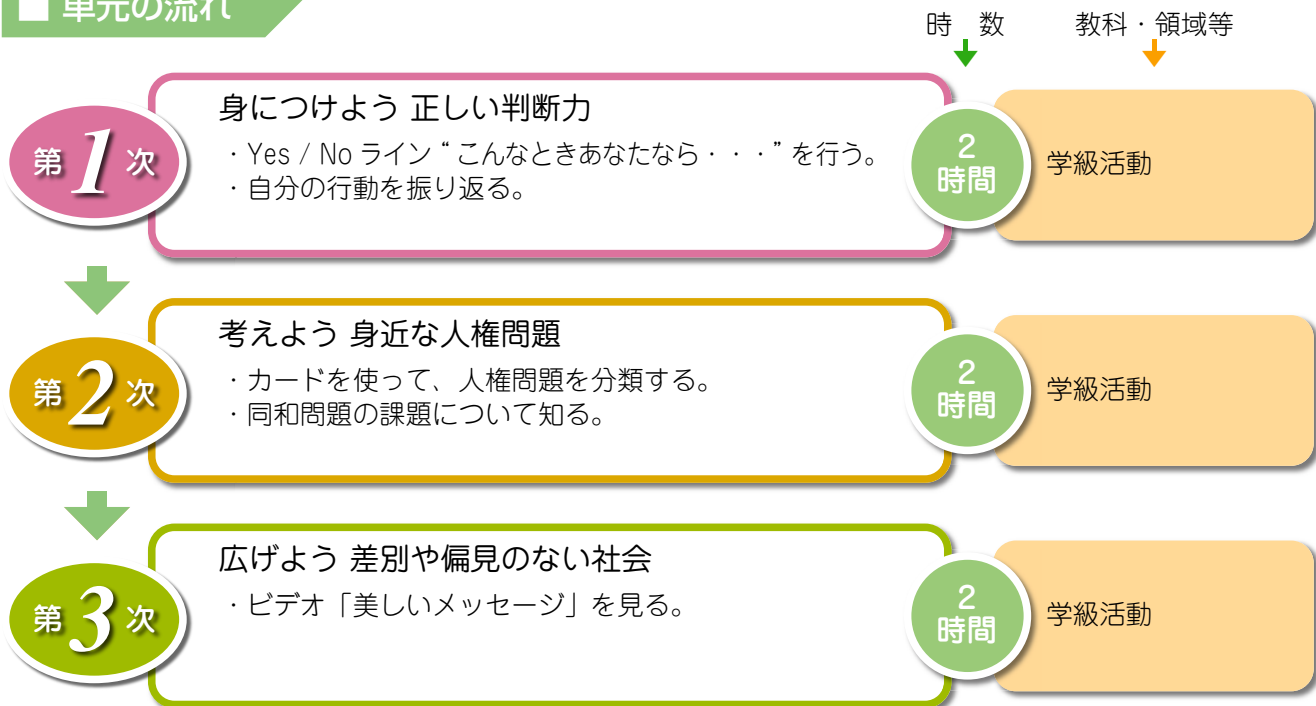
この単元は、具体的な人権課題について学ぶことを目標にしています。未来に向けて明るい展望を生徒にもたせるよう配慮しましょう。



単元の目標

- 1 社会に存在する人権問題について科学的な認識を深め、人権基準等に照らして多くの仲間と共に解決に向けて取り組もうとする。
(2-⑦具体的な人権課題)
- 2 ステレオタイプ（決めつけた見方）や偏見にとらわれないよう自分の感情や考えを冷静に振り返り、物事を柔軟かつ多角的に見ようとする。
(3-⑧多様性・多文化共生)

単元の流れ



第1次 身につけよう 正しい判断力

目 標

- まわりの言動に左右されず、自分なりによく考えて行動しようとする態度を育む。(単元目標2)

準 備 物

- ・ ワークシート ①「Yes / No ライン “こんなときあなたなら・・・”」
- ・ ワークシート ②「ふりかえりシート」

「Yes / No ライン “こんなときあなたなら・・・”」については『対話で進める人権学習』(P121・P122)を参考にしてください。



展 開 【1】

学 習 活 動

1

ワークシート①「Yes / No ライン “こんなときあなたなら・・・”」に取り組む。

2

いくつかの質問についてなぜそう考えたか、Yes/No 両方の理由を発表する。

3

ワークシート②「ふりかえりシート」に記入する。

4

グループで話し合う。

5

話し合ったことを発表する。

支 援 及 び 留 意 点

・ まわりの人に左右されず、自分で決めるよう指示する。

・ 自分で判断できたか、他の人の考えを聞いてどう思ったかを振り返らせる。
・ 自分が、正しいと判断したとおり行動できているかを考えさせる。

・ 今までの自分の経験を振り返らせる。

評 価 規 準

自分で判断して、移動しようとしている。

【価値 態度】

人の言動に左右されず、自分の考えで行動することの大切さに気づいている。

【価値 態度】

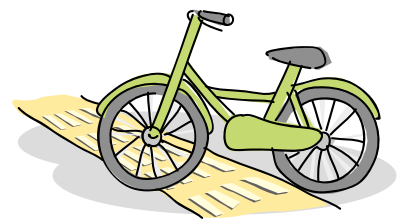
ポ イ ン ト

- ワークシート①の質問には、学校や学級の課題に応じて、考えさせたいことを盛り込みましょう。「ちがいのちがいかード」(『気づく・学ぶ・広げる 人権学習』P124・P125)も参考にできます。
- 行動の基準が、まわりの人の言動に左右されていないかを考えさせましょう。

[1] ワークシート①

「Yes/No ライン “こんなときあなたなら・・・”」

- 1 カレーライスよりスパゲティーの方が好きです。
- 2 Aさんは、ニンジンが嫌いですが、Bさんは何でも食べます。この違いは、あってもよいです。
- 3 Sレストランにはスーツを着た人は入れますが、ジーパンでは入れません。こういうレストランがあってもよいです。
- 4 A君は、男の先生の言うことを聞きますが、女の先生の言うことは聞きません。この違いは、あってもよいです。
- 5 掃除当番で班のみんながさぼっているから、自分もさぼってよいと思います。
- 6 親は妹には食事の後片付けを言いつけますが、兄には何も言いません。この違いは、あってもよいです。
- 7 点字ブロックの上に自転車を置いている人がいます。あなたも、点字ブロックの上に自転車を置きます。
- 8 電車に乗って座っていると、高齢者が乗ってきました。あなたは席を譲ります。
- 9 あなたは学校に来れますが、世界には貧しさが原因で、学校に行きたくても行けずに働いている子どもたちがいます。この違いは、あってもよいです。
- 10 日本のある会社では日本人は入社試験を受けられますが、外国人は入社試験を受けられません。この違いは、あってもよいです。



「ふりかえりシート」

() 組 () 番 名前 ()

- 1 まわりの人に左右されずに、自分で判断できましたか。
ア すべて自分で判断できた。
イ できない時もあった。
ウ 全くできなかった。

- 2 最も判断に迷った質問は何番の質問ですか？（複数回答可）

- 3 その時、どのように判断しましたか？
ア 人の多い方に移動した。
イ 仲の良い友達のいる方に移動した。
ウ 自分で判断した。
エ その他 ()

- 4 7番の質問「点字ブロックの上に自転車を置きます」で、あなたはどちらを選びましたか？
ア Yes を選んだ。
イ No を選んだ。

- 5 あなたの実際の生活ではどうですか。
ア 一度も置いたことがない。
イ 置いたことがある。

- 6 5でイと答えた人は、なぜその時「置いた」のですか。
理由 ()

- 7 してはいけないと思っているのに、自分の都合やまわりの人から影響を受けたことで、人を傷つけてしまったことはありませんか。
ア ない
イ ある
内容 ()

- 8 正しいとわかっているのに、実際にそのとおり行動できないことがあるのは、なぜだと思いますか。
ア まわりの目を気にするから。
イ その方が楽だから（楽しいから）。
ウ その他 ()

- 9 どうすれば、自分が正しいと思っているとおりに行動できるでしょう。

第2次 考えよう 身近な人権問題

目 標

- 様々な人権問題について認識を深め、その不合理さに気づく。(単元目標 1)

準 備 物

- ・ 資料①「人権問題カード」
- ・ 資料②「娘の遺してくれたもの」(『豊かなつながりをもとめて』P13・P14)
- ・ 資料③「残された課題解決のために」

展 開 【2】

学 習 活 動

1

社会にどんな人権問題があるかを考え、発表する。

2

4人程度のグループで資料①「人権問題カード」を分類する。

3

分類ごとに表題をつける。

4

社会には、様々な人権問題があることを知る。

5

資料②「娘の遺してくれたもの」を読む。

6

資料③「残された課題解決のために」を見て、県内の同和問題の残された課題について知る。

7

グループで以下の点について話し合う。

- ① 気づいたこと、感じたことは何か。
- ② 「わからない」という回答に対してどう考えるのか。

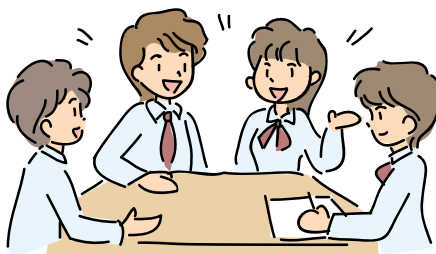
8

グループで話し合ったことを発表する。

支 援 及 び 留 意 点

- ・ 共通点に着目させて、分類させる。
- ・ 表題については、身近な言葉でつける。
- ・ 残された同和問題の課題について学習する必要があることに気づかせる。
- ・ 同和問題の課題を考えさせる。

同和問題



評 価 規 準

様々な人権問題が存在することを理解している。

【知 識】

同和問題の現状を知り、その不合理さに気づくことができる。

【技 能】

ポ イ ン ト

- 「人権問題カード」は、様々な人権問題の不合理さに気づかせることができるよう工夫しましょう。

「人権問題カード」

経済的な理由で、学校に行けなかったために、今も字を読んだり、書いたりできない人がいる。

母親は、男性である兄や弟には家事の手伝いをするように言わないが、女性である私にだけ言う。

外国人という理由で、マンションやアパートの部屋を借りられない。

外国では、幼い子どもが兵士として戦争に行かされる国もある。

しつけという名目で、子どもが親から暴力を振るわれる。

車椅子に乗っているという理由で、レストランや商店に入ることを断られる。

結婚する前に、相手の出身地を調べる。

障害があるために、働く機会・場所が少ない。

年をとっているという理由で仕事に就けない。

肌の色が黒いという理由で、レストランや商店に入ることを断られる。

出身地によって、会社に採用されない。

点字ブロックの上に自転車を置いている。

外国人がたくさん住んでいるという理由だけで、「物騒な所だ」と言う。

全く同じ仕事をしているのに男女で給料が違う。

ほとんど食事をもらえなかったり、風呂へ入れない子どもがいる。

外国人という理由だけで、全く同じ仕事をしている日本人より給料が安い。

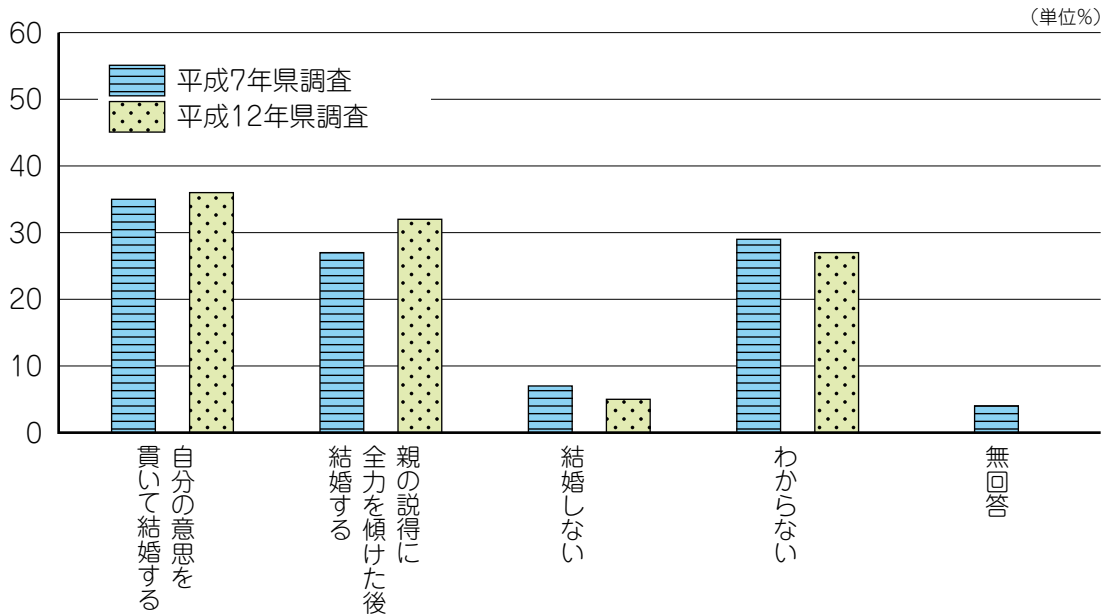
年をとって介護が必要なのに、それが受けられない。

段差があるので、車椅子のままでは電車に乗れない。

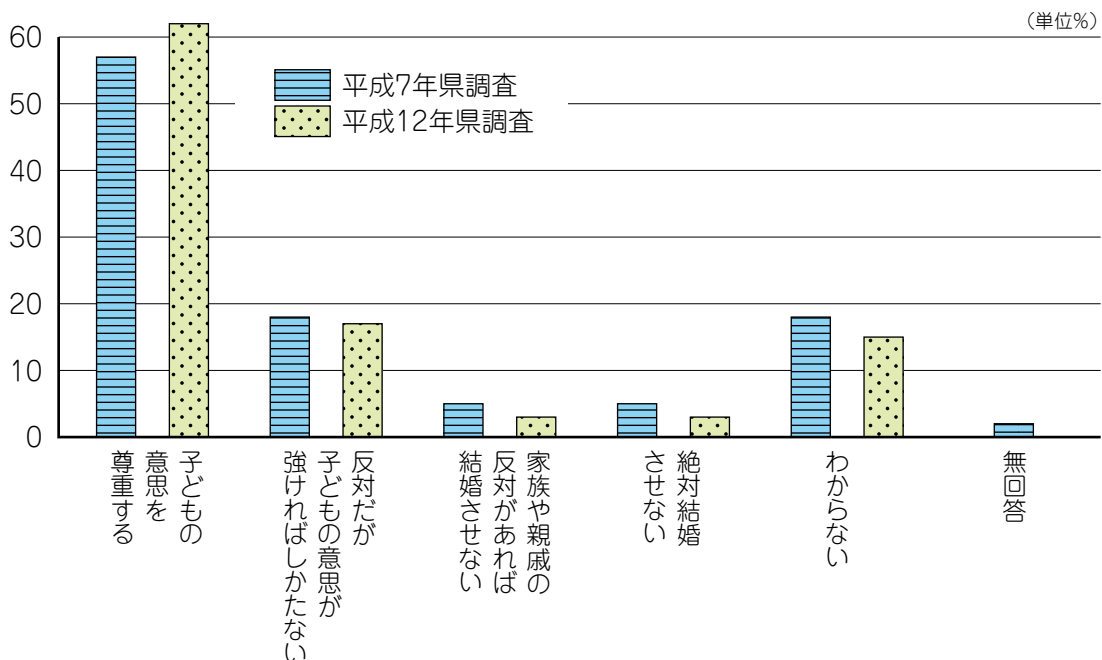
「残された課題解決のために」

下のグラフは、和歌山県同和委員会が県民の同和問題に関する意識、特に「結婚に関わる意識」を調査したものです。このグラフから読み取れることを考えてみてください。

問 かりにあなたが、同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしたとき親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか。



問 かりに、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかったとき、あなたはどうされますか。



第3次

広げよう 差別や偏見のない社会

目 標

- 社会に存在する偏見や差別をなくすために、仲間と共に取り組もうとする態度を育む。(単元目標 1)
- ステレオタイプや偏見にとらわれないことが、大切であることに気づく。(単元目標 2)

準 備 物

- ・ ビデオ「美しいメッセージ」(企画:大阪市・大阪市教育委員会)
- ・ ワークシート ③「美しいメッセージを見て」

展 開 [3]

学 習 活 動

1

第2次までの学習を振り返る。

2

ビデオ「美しいメッセージ」を見る。

3

ワークシート③「美しいメッセージを見て」に感想をまとめる。

4

グループで以下のテーマについて話し合う。

- ①条件をつけた時の絵理子の思い
- ②市内のあちこちに瞬きが広がっていったことは何を意味しているのか。

5

偏見や差別をなくすためにどうすべきか考え、発表する。

6

学習のまとめをする。

支 援 及 び 留 意 点

・ どのような意識や行動が差別をなくすことにつながるかを考えさせる。

・ 発表することで、全員で確認させる。

・ 未来へ向けて明るい展望をもたせて終わる。

評 価 規 準

偏見にとらわれず物事を見ようとしている。

【価値 態度】

偏見や差別をなくすための取組を考えようとしている。

【価値 態度】

偏見や差別を見抜く力、許さない心、立ち向かう勇気を育てるとともに、解決への展望をもたせましょう。
ビデオは、和歌山県人権啓発センターで借りられます。



「美しいメッセージを見て」

()組()番 名前()

1 心に残った場面を書きましょう。

2 自分ができるところを考えて書きましょう。

3 まわりの人と協力してできるところを考えて書きましょう。



1 ポイント

テーマは心のネットワークです。10代後半を始め、若者たちの心の喪失が言われて久しくなります。だが、果たして、彼らは本当に心を閉ざしているのでしょうか。本音では、皆、心の交流を望んでいるのではないのでしょうか。

この物語では、日本の、大阪の片隅で、一人の少女が「差別はおかしい」と心の叫びを上げます。その小さなメッセージが、多くの若者たちを経て世界中に伝わり人々の心の門を叩きます。そして、たくさんの人たちがそれに応え、明かりを点滅するのです。

差別はいけないと思っている人は大勢います。だが、残念ながら自分とは関係ないと思っている人も、一杯います。

本当は、誰にも関係あることなのです。差別される人をそのままにする事は、自分が差別されても仕方がない事でしょう。

そんな社会が嫌だから、少女は声を上げたのです。

21世紀は、人権の時代です。偏見や差別意識をきっぱりと洗い流す新しい世紀にしなければなりません。

この作品は、多くの人々、若い人たちが、差別をどのようにして自分の問題と考えられるかを、心から願っているのです。

2 ストーリー

中二の純夏（すみか）は、故郷の同和地区に診療所を開く叔母、絵理子の奮闘記を、地元のケーブルテレビで発表することにする。だが、母の絹代は、絵理子と純夏の『宣言』になることを思い反対する。

悩む純夏は、先輩で在日のパククンサンに相談する。パククンサンと共に訪れた純夏に、絵理子は、差別は黙ってはいなくなると発表に賛成するが、一つの条件をつける。それは、神戸の大震災に、ボランティアとして参加した絵理子が、救援物資の弁当を配っていた時、段ボール箱に書かれた「部落」の文字を見て、拒否された話を盛り込むというものだった。放送当日。診療所を開いた絵理子の思いと震災時の話を語る純夏。少し待てば差別はなくなると言う人もいるが、「私は待てない。差別に怯える自分にさよならしたい」と心から訴える。そして最後に、自分の話に賛同してくれる人は、来週の8月8日夜8時、家の明かりを瞬かせてほしいと呼びかける。その頃パククンサンは、インターネットで純夏の訴えを発信していた。

その夜、高台に上がった純夏、絵理子、パククンサンは信じられない光景を目にする。市内のあちこちで、確かに明かりが点滅したのだ。三人は、感動に胸を震わせ、いつまでもその“美しいメッセージ”を見続けていた…。

出典：ビデオ「美しいメッセージ」企画大阪市・大阪市教育委員会解説文